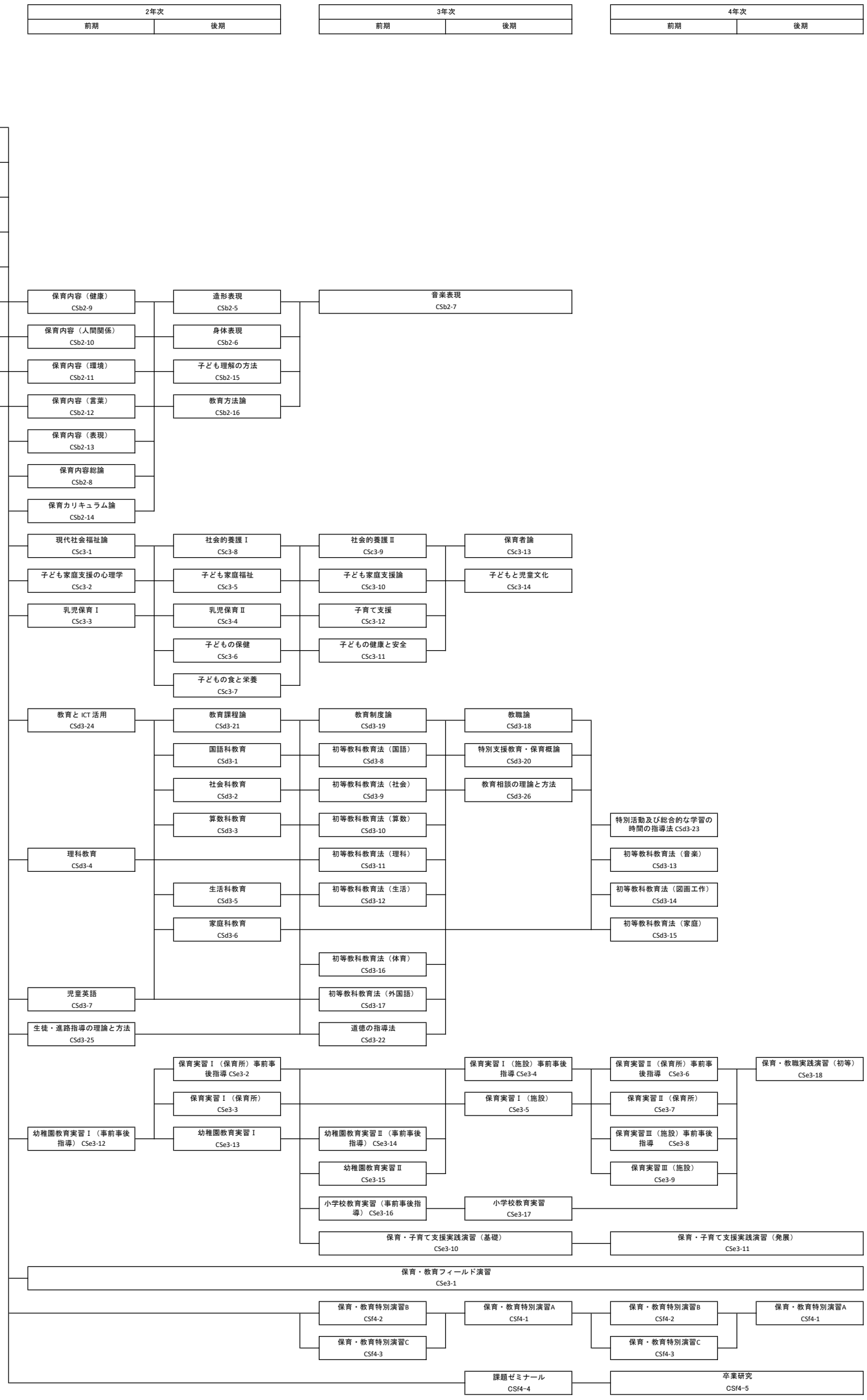
【履修系統図】共立女子大学　家政学部　児童学科

分野	教育目標
専門基礎	児童学における入門的又は基礎的な科目を配置する
専門基幹	保育職・教育者として基幹となる専門的知識・技術を修得する科目を配置しており、保育職・教職の使命と責任について学修する。
専門発展 保育領域	保育領域の学びを通して、子どもを尊重する子ども観や個人や集団に応じた支援・指導ができる技能及び保育職・教職への使命感と責任感を基軸として自己の学びを総括し、諸課題を解決していく能力と実践的態度を身につけることを目指す。
専門発展 教育領域	教育領域の学びを通して、子どもを尊重する子ども観や個人や集団に応じた支援・指導ができる技能及び保育職・教職への使命感と責任感を基軸として自己の学びを総括し、諸課題を解決していく能力と実践的態度を身につけることを目指す。
実践・実習	各科目で修得した理論と実践を統合する能力を養うため、保育実習・教育実習やフィールドワークを通して、保育、教育の実践力を育むとともに、学生自らが学ぶ姿勢や課題を分析・検討する力を養う
専門探究	児童学の諸分野における特定の課題を選択し、探究する中で、児童の育成やその支援、子どもにかかわる専門実践者としてふさわしい認識と理解を確かなものにする。



ナンバリングの読み方（例）CSa1-1

学部	CS：家政学部 児童学科
中分類	a：専門基礎科目, b：専門基幹科目, c：専門発展科目（保育領域） d：専門発展科目（教育領域）,e ：専門発展科目（実践・実習）, f：専門探究科目
順次性	1：入門、基礎科目 , 2： 中級、基幹科目 , 3：上級、発展科目 , 4：学士卒業レベル
通し番号	一意の数字を表す通し番号